



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社ヒガシマル
コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 木通 昌生

TEL 099-273-3859

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,424	1.9	221	△35.2	153	△45.4	13	△85.1
23年3月期第3四半期	7,283	3.5	342	△13.5	280	△34.0	88	△56.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 109百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △97百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	2.80	—
23年3月期第3四半期	18.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,218	4,251	4,251	4,184	46.1
23年3月期	8,973	4,184	4,184	4,184	46.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,251百万円 23年3月期 4,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,668	3.1	112	29.9	42	△51.1	206	232.6	43.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	4,746,000 株	23年3月期	4,746,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	40,842 株	23年3月期	40,842 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	4,705,158 株	23年3月期3Q	4,705,158 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(表示方法の変更)	3
(追加情報)	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原子力災害の影響や電力供給の制約の問題に加え、引き続き欧州債務問題などを背景とした海外景気の下振れの影響があるものの、震災復興需要関連の顕在化が進んでいることや経済が堅調な新興国・資源国に牽引され景気は緩やかな伸びに止まっております。

このような状況のなか、水産事業では養魚用配合飼料の販売量が減少し、養殖用稚魚等の販売量が伸び、食品事業では震災後の一時的な品薄に対応して即席めん類の増産を行った結果、売上高は74億24百万円と前年同四半期と比べ1億41百万円(1.9%)の増収となりました。損益面につきましては、売上高の増収と経費削減の効果はありましたが、原材料及び運賃等の値上がりの影響が大きく、営業利益は2億21百万円と前年同四半期と比べ1億20百万円(35.2%)の減益、経常利益は1億53百万円と前年同四半期と比べ1億27百万円(45.4%)の減益、四半期純利益は13百万円と前年同四半期と比べ75百万円(85.1%)の減益となりました。

なお、養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、成育が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節的変動があります。したがって、当第3四半期連結会計期間の売上高は、第1四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間と比べ高くなる傾向にあります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①水産事業

水産事業におきましては、マダイ飼料類及びエビ飼料類の販売が減少しましたが、ハマチ飼料類及びヒラメ飼料類が増加した結果、売上高は61億50百万円と前年同四半期と比べ17百万円(0.3%)の増収となりました。セグメント利益は、原材料及び運賃等の値上がりと為替差損により1億92百万円と前年同四半期と比べ2億17百万円(53.1%)の減益となりました。

②食品事業

食品事業におきましては、震災後の一時的な増産から即席めん類及びそうめん類の販売が増加した結果、売上高は12億74百万円と前年同四半期と比べ1億23百万円(10.8%)の増収となりました。セグメント利益は、原材料及び資材等の値上がりはありましたが、売上高の増収と経費削減の効果により1億3百万円と前年同四半期と比べ38百万円(58.3%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度と比べ2億44百万円増加し、92億18百万円となりました。これは、主として現金及び預金が4億69百万円、原材料及び貯蔵品が3億3百万円、建物及び構築物が46百万円、機械装置及び運搬具が1億10百万円減少したものの、当社グループの業況の季節的変動要因により、受取手形及び売掛金が12億67百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度と比べ1億77百万円増加し、49億66百万円となりました。これは、主として当社グループの業況の季節的変動要因により買掛金が3億46百万円、その他の流動負債が1億44百万円増加し、長期借入金も2億13百万円、その他の固定負債が92百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度と比べ66百万円増加し、42億51百万円となりました。これは、主として利益剰余金が29百万円減少し、海外子会社の為替換算調整勘定が68百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社グループの事業に係るリスクの発生、運営上の重要な契約等の締結、その他当社グループの将来の業績に影響を与える可能性のある事象が発生した場合は、業績予想を見直す可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

従来、営業外収益として計上しておりました物品売却益は、金額的重要性が増したため、第1四半期連結累計期間から売上高に含めて表示することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の連結損益計算書において、物品売却益として表示していた56,540千円は、売上高として組み替えております。

(追加情報)

平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が公布されたことにより、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率が引き下げられ、また、一定期間内、復興特別法人税が課されることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、一時差異等の解消が見込まれる期に対応した以下の税率によることとなります。

平成24年3月31日までの連結会計年度	39.70%
平成24年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度	37.10%
平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度	34.80%

この法定実効税率の変更により、繰延税金資産(純額)が11,816千円減少(流動資産16,958千円減少、固定資産5,141千円増加)し、当第3四半期連結累計期間に計上された法人税等調整額が2,323千円増加、繰延ヘッジ損益が10,392千円増加、その他有価証券評価差額金が898千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,156,153	686,797
受取手形及び売掛金	1,231,276	2,498,695
商品及び製品	443,803	410,986
仕掛品	91,431	53,039
原材料及び貯蔵品	1,054,250	750,394
その他	185,401	207,732
貸倒引当金	△2,813	△5,807
流動資産合計	4,159,502	4,601,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,193,805	1,147,208
機械装置及び運搬具（純額）	874,944	764,135
土地	1,763,746	1,763,746
その他（純額）	49,010	48,133
有形固定資産合計	3,881,507	3,723,223
無形固定資産	49,993	41,904
投資その他の資産		
投資その他の資産	926,573	894,953
貸倒引当金	△43,813	△43,813
投資その他の資産合計	882,759	851,139
固定資産合計	4,814,260	4,616,267
資産合計	8,973,763	9,218,106

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	406,035	752,858
短期借入金	1,766,632	1,804,000
未払法人税等	35,827	91,332
賞与引当金	92,830	23,669
その他	430,012	574,507
流動負債合計	2,731,338	3,246,368
固定負債		
長期借入金	1,066,000	853,000
退職給付引当金	37,122	39,220
役員退職慰労引当金	478,795	444,553
その他	475,937	383,492
固定負債合計	2,057,855	1,720,266
負債合計	4,789,193	4,966,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,473,609	3,444,416
自己株式	△28,938	△28,938
株主資本合計	4,506,971	4,477,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,061	11,961
繰延ヘッジ損益	△292,467	△263,802
為替換算調整勘定	△42,996	25,534
その他の包括利益累計額合計	△322,401	△226,306
純資産合計	4,184,569	4,251,471
負債純資産合計	8,973,763	9,218,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	7,283,199	7,424,630
売上原価	6,009,254	6,310,689
売上総利益	1,273,944	1,113,940
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	286,109	323,138
貸倒引当金繰入額	315	3,156
給料及び賞与	211,477	197,103
賞与引当金繰入額	16,219	△6,827
役員退職慰労引当金繰入額	10,770	7,341
その他	407,016	368,477
販売費及び一般管理費合計	931,909	892,389
営業利益	342,035	221,550
営業外収益		
受取利息	2,302	412
受取配当金	3,719	3,965
受取保険金	7,682	2,632
役員退職慰労引当金戻入額	—	40,943
雑収入	14,331	18,477
営業外収益合計	28,036	66,431
営業外費用		
支払利息	20,031	17,062
為替差損	65,835	113,795
雑損失	3,578	4,029
営業外費用合計	89,444	134,888
経常利益	280,627	153,093
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,634
補助金収入	—	9,428
特別利益合計	—	16,063
特別損失		
固定資産除却損	424	1,101
投資有価証券売却損	—	32
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,645	—
特別損失合計	13,069	1,134
税金等調整前四半期純利益	267,558	168,022
法人税、住民税及び事業税	167,712	141,470
法人税等調整額	11,543	13,399
法人税等合計	179,256	154,869
少数株主損益調整前四半期純利益	88,302	13,153
四半期純利益	88,302	13,153

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	88,302	13,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,964	△1,100
繰延ヘッジ損益	△198,619	28,665
為替換算調整勘定	20,283	68,530
その他の包括利益合計	△186,300	96,095
四半期包括利益	△97,998	109,248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97,998	109,248
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,132,522	1,150,677	7,283,199	—	7,283,199
セグメント利益	409,625	65,185	474,811	△194,183	280,627

(注) 1 セグメント利益の調整額△194,183千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費151,639千円、営業外収益5,195千円、営業外費用47,740千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,150,221	1,274,408	7,424,630	—	7,424,630
セグメント利益	192,088	103,210	295,299	△142,205	153,093

(注) 1 セグメント利益の調整額△142,205千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費120,232千円、営業外収益35,869千円、営業外費用57,842千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。